

解決すべき課題

埋蔵文化財展示室の設置から20年が経過し、展示内容、展示手法、運営について、解決すべき課題は以下のように整理されます。

1 展示内容について

- ① アイヌ文化期の出土資料が展示されていないなど、最新の発掘調査の成果が反映されていない。
- ② 展示構成に不足があり、旧石器時代からアイヌ文化期まで、歴史の連続性を理解しにくい。
- ③ これまで蓄積されてきた豊富な収蔵資料が活かされていない。

2 展示手法について

- ① 展示替えが容易な展示手法が採用されておらず、展示が固定化している。
- ② 木製品や金属製品などの展示資料の希少性・耐久性に配慮した展示手法が十分ではない。
- ③ 展示室の狭小さや収蔵資料の不足を補う観点から、他の博物館・資料館との連携を図るなどの手法が不足している。
- ④ 学校の歴史教育や校外学習の拠点として、児童・生徒が主体的に体験できるようなメニューの充実が望まれる。
- ⑤ 海外の利用者を想定した表記がない。
- ⑥ LED照明などを導入し、環境負荷の軽減に努める必要がある。
- ⑦ バリアフリー化など、障がい者や高齢者への配慮が望まれる。

3 運営について

- ① 展示解説の内容や方法を工夫することが望まれる。
- ② 中央図書館と併設された特徴を活かし、学校教育や生涯学習における連携を深めることが望まれる。